Sx500シリーズスタッカブルスイッチのスパニ ングツリープロトコル(STP)インターフェイス設 定

目的

スパニングツリープロトコル(STP)は、トポロジでループが発生するのを防ぐネットワーク プロトコルです。これらのループにより、スイッチはトラフィックを無限に転送します。こ れにより、ネットワークがフラッディングされ、リソースが使用されるため、ネットワーク 効率が低下します。

STPインターフェイス設定は、ポート単位でSTPの効率を高めるために使用されます。エッジポートの機能ファストリンクは、デバイスの接続時にポートをフォワーディングステート に設定することによって、STPコンバージェンスの速度を向上させます。ルートガードとブ リッジプロトコルデータユニット(BPDU)ガードは、STPトポロジの制御に使用されます。 このトポロジの追加制御により、ブリッジループの発生が防止されます。

この記事では、Sx500シリーズスタッカブルスイッチでSTPインターフェイスを設定する方 法について説明します。

該当するデバイス

・Sx500シリーズスタッカブルスイッチ

[Software Version]

• v1.2.7.76

STPインターフェイスの設定

注:STPインタフェース設定を設定する前に、ユーザはクラシックSTPモードの動作を選択 する必要があります。詳細については、『*Sx500シリーズスタッカブルスイッチでのスパニ* ングツリープロトコル(STP)の設定』を参照してください。

ステップ1:Web設定ユーティリティにログインし、[スパニングツリー] > [STPインターフェ イス設定]を選択します。「STPインターフェイスの設定」ページが開きます。

ST	P Interfac	ce Settir	ngs				
ST	P Interface S	Setting Tabl	e				
Filt	er: <i>Interface</i>	Type equa	als to Port	of Unit 1/2 🔻	Go		
	Entry No.	Interface	STP	Edge Port	Root Guard	BPDU Guard	BPDU Handling
0	1	FE1	Enabled	Disabled	Disabled	Disabled	STP
0	2	FE2	Enabled	Disabled	Disabled	Disabled	STP
0	3	FE3	Enabled	Disabled	Disabled	Disabled	STP
C	4	FE4	Disabled	Disabled	Disabled	Disabled	Flooding
0	5	FE5	Enabled	Disabled	Disabled	Disabled	STP
C	6	FE6	Enabled	Disabled	Disabled	Disabled	STP

ステップ2:[Interface Type]ドロップダウンリストから、編集するインターフェイスのタイプ を選択します。

ステップ3:[**Go**]をクリックし、ページにポートまたはLAGのみを表示します。

	Copy Sett	ings	Edit					
0	50	GE4	Enabled	Disabled	Disabled	Disabled	STP	
0	49	GE3	Enabled	Disabled	Disabled	Disabled	STP	
۲	48	FE48	Enabled	Disabled	Disabled	Disabled	STP	
0	47	FE47	Enabled	Disabled	Disabled	Disabled	STP	
0	46	FE46	Enabled	Disabled	Disabled	Disabled	STP	
0	45	FE45	Enabled	Disabled	Disabled	Disabled	STP	
0	44	FE44	Enabled	Disabled	Disabled	Disabled	STP	
0	43	FE43	Enabled	Disabled	Disabled	Disabled	STP	
C	42	FE42	Enabled	Disabled	Disabled	Disabled	STP	
0	41	FE41	Enabled	Disabled	Disabled	Disabled	STP	

ステップ4:他のスイッチに接続されているポートまたはLAGのオプションボタンをクリックし、[**Edit**]をクリックします。[Edit STP Interface]*ウィンドウが*表示されます。

Interface:	● Unit/Slot 1/2 ▼ Port FE48 ▼ C LAG 1 ▼
STP:	Enable
Edge Port:	C Enable
	Auto
	Disable
Root Guard:	Enable
BPDU Guard:	Enable
BPDU Handling:	Use Global Settings
	C Filtering
	C Flooding
Path Cost:	Use Default
	C User Defined 2000000 (Range: 1 - 20000000
Priority:	128 -
Port State:	Disabled
Designated Bridge ID:	N/A
Designated Port ID:	N/A
Designated Cost:	N/A
Forward Transitions:	N/A
Speed:	100M
LAG	N/A

ステップ5:(オプション)[Interface]フィールドで、目的のインターフェイスタイプに対応 するオプションボタンをクリックします。

・ユニット/スロット:[ユニット/スロット(Unit/Slot)]ドロップダウンリストから、適切な ユニット/スロットを選択します。ユニットは、スイッチがアクティブか、スタック内のメ ンバかを識別します。スロットは、どのスイッチがどのスロットに接続されているかを示 します(スロット1はSF500、スロット2はSG500)。 使用されている用語に慣れていない 場合は、シスコビジネスをご覧<u>ください。新用語一覧</u>。

- [Port]:[Port]ドロップダウンリストから、設定する適切なポートを選択します。

・LAG:LAGドロップダウンリストから、STPがアドバタイズされるLAGを選択します。 リンク集約グループ(LAG)は、複数のポートをリンクするために使用されます。LAGは帯 域幅を増やし、ポートの柔軟性を高め、2つのデバイス間のリンク冗長性を提供してポー トの使用を最適化します。

Interface:	● Unit/Slot 1/2 ▼ Port FE48 ▼ ○ LAG 1 ▼
STP:	C Enable
Edge Port:	 Enable Auto Disable
Root Guard:	Enable
BPDU Guard:	Enable
BPDU Handling:	 Use Global Settings Filtering Flooding
Path Cost:	Use Default User Defined 2000000 (Range: 1 - 200000000
Priority:	128 💌
Port State:	Disabled
Designated Bridge ID:	N/A
Designated Port ID:	N/A
Designated Cost:	N/A
Forward Transitions:	N/A
Speed:	100M
LAG:	N/A

ステップ6:インターフェイスでSTPを有効にするには、STPフィールドで**Enable**をオンに します。

interrace:	● UNIVSION 1/2 ♥ POR FE48 ♥ () LAG
STP:	Enable
Edge Port:	C Enable Auto C Disable
Root Guard:	Enable
BPDU Guard:	Enable
BPDU Handling:	 Use Global Settings Filtering Flooding
Path Cost:	Use Default User Defined 2000000 (Range: 1 - 200000000
Priority:	128 -
Port State:	Disabled
Designated Bridge ID:	N/A
Designated Port ID:	N/A
Designated Cost:	N/A
Forward Transitions:	N/A
Speed:	100M
LAG	N/A

ステップ7:[Edge Port]フィールドで、目的のファストリンクの使用に対応するオプションボ タンをクリックします。ファストリンクは、ポートがアップ状態になると、ポートを自動的 にフォワーディングステートに設定するために使用されます。高速リンクは、STPコンバー ジェンスを最適化します。

・ Enable:高速リンクをすぐに有効にします。

・ Auto:インターフェイスがアクティブになってから数秒後にファストリンクを有効にす るまで待機し、ループを最初に解決します。

・ Disable: 高速リンクを無効にします。

Interface:	● Unit/Slot 1/2 ▼ Port FE48 ▼ C LAG 1 ▼
STP:	Enable
Edge Port:	 Enable Auto Disable
Root Guard:	Enable
BPDU Guard:	Enable
BPDU Handling:	 Use Global Settings Filtering Flooding
Path Cost:	Use Default User Defined 2000000 (Range: 1 - 200000000)
Priority:	128 -
Port State:	Disabled
Designated Bridge ID:	N/A
Designated Port ID:	N/A
Designated Cost:	N/A
Forward Transitions:	N/A
Speed:	100M
LAG	N/A

ステップ8:(オプション)Root GuardフィールドのEnableをオンにして、インターフェイ スでRoot Guardを有効にします。このオプションを使用すると、ネットワーク内でのルー トブリッジの配置を強制できます。ルートガードでは、新しく接続されたデバイスがルート ブリッジになることは許可されません。ルートブリッジは、STPトポロジに影響を与えます 。

注:ルートガードは、ルートブリッジから出るインターフェイスでのみ設定する必要があります。

Interface:	Init/Slot 1/2 ▼ Port FE48 ▼ C LAG 1 ▼
STP:	Enable
Edge Port:	 Enable Auto Disable
Root Guard:	Enable
BPDU Guard:	Enable
BPDU Handling:	 Use Global Settings Filtering Flooding
Path Cost:	Use Default User Defined 2000000 (Range: 1 - 200000000
Priority:	128 -
Port State:	Disabled
Designated Bridge ID:	N/A
Designated Port ID:	N/A
Designated Cost:	N/A
Forward Transitions:	N/A
Speed:	100M
LAG:	N/A

ステップ9:(オプション)BPDU GuardフィールドのEnableをオンにして、インターフェイ スでBridge Protocol Data Unit(BPDU)Guardを有効にします。BPDUガードを使用すると、 ユーザはインターフェイスにSTPドメイン境界を強制し、アクティブなトポロジを予測可能 な状態に保つことができます。BPDUが有効になっているインターフェイスに接続されてい るデバイスは、STPトポロジに影響を与えません。スイッチがBPDUガードが有効なインタ ーフェイスでBPDUを受信すると、そのインターフェイスは無効になり、SNMPトラップが 生成されます。

注:BPDUガードは、Port Fastが有効なインターフェイスで、他のインターフェイスでは有 効にしないでください。

Interface:	● Unit/Slot 1/2 ▼ Port FE48 ▼ C LAG 1 ▼
STP:	Enable
Edge Port:	 Enable Auto Disable
Root Guard:	Enable
BPDU Guard:	Enable
BPDU Handling:	 Use Global Settings Filtering Flooding
Path Cost:	Use Default User Defined 2000000 (Range: 1 - 20000000
Priority:	128 -
Port State:	Disabled
Designated Bridge ID:	N/A
Designated Port ID:	N/A
Designated Cost:	N/A
Forward Transitions:	N/A
Speed:	100M
LAG	N/A

ステップ10:[BPDU Handling]フィールドで、該当するオプションに対応するオプションボタ ンをクリックします。これにより、インターフェイスでSTPが無効になっている場合の BPDUパケットの管理方法が決まります。BPDUはSTP情報の送信に使用されます。

・ [グローバル設定を使用(Use Global Settings)]:[*STPの状態とグローバ*ル設定(*STP Status and Global Settings*)]ページで定義されている設定を使用します。

・フィルタリング:PortFastが有効になっているポートでは、1つ以上のスイッチポートで BPDUが送信または処理されるのを防ぐために、BPDUフィルタリングが有効になってい ます。

・フラッディング:インターフェイスでSTPが無効になっている場合、BPDUパケットは すべてのインターフェイスによって転送されます。

Interface:	● Unit/Slot 1/2 ▼ Port FE48 ▼ C LAG 1 ▼
STP:	Enable
Edge Port:	 Enable Auto Disable
Root Guard:	Enable
BPDU Guard:	Enable
BPDU Handling:	 Use Global Settings Filtering Flooding
Path Cost:	C Use Default User Defined 200000 (Range: 1 - 200000000)
Priority:	128 -
Port State:	Disabled
Designated Bridge ID:	N/A
Designated Port ID:	N/A
Designated Cost:	N/A
Forward Transitions:	N/A
Speed:	100M
	N/A

ステップ11:[Path Cost]フィールドで、目的のパスコストに対応するオプションボタンをク リックします。パスコストは、ルートパスへのポートの寄与です。

・ Use Default:システムによって生成されたデフォルトのコストを使用します。

・「ユーザー定義」 – 「ユーザー定義」フィールドにパスコストの値を入力します。パス コストは、パケットが送信されるインターフェイスに対して選択する必要があります。発 信インターフェイスとして、パスコストの低いインターフェイスが選択されます。

internace.	● Unit/Slot 1/2 ▼ Port FE48 ▼ C LAG 1 ▼
STP:	Enable
Edge Port:	C Enable
	Auto
	C Disable
Root Guard:	Enable
BPDU Guard:	Enable
BPDU Handling:	Use Global Settings
	C Filtering
	C Flooding
Path Cost:	C Use Default
	User Defined 200000 (Range: 1 - 200000000)
	\frown
Priority:	128 -
Priority: Port State:	Disabled
Priority: Port State: Designated Bridge ID:	Disabled N/A
Priority: Port State: Designated Bridge ID: Designated Port ID:	Disabled N/A N/A
Priority: Port State: Designated Bridge ID: Designated Port ID: Designated Cost:	Disabled N/A N/A N/A
Priority: Port State: Designated Bridge ID: Designated Port ID: Designated Cost: Forward Transitions:	Disabled N/A N/A N/A N/A
Priority: Port State: Designated Bridge ID: Designated Port ID: Designated Cost: Forward Transitions: Speed:	Disabled N/A N/A N/A N/A 100M

ステップ12:[Priority]ドロップダウンリストから、インターフェイスのプライオリティ値を選 択します。プライオリティ値は、ブリッジに2つのポートがループで接続されている場合に 、ポートの選択を決定します。値が低いほど、ポートのブリッジ上のプライオリティが高く なります。

次のフィールドは、インターフェイスの統計情報を表示します。

Port State – 指定されたポートの現在の状態。

- [Disabled]:STPが無効になります。ポートは、MACアドレスを学習しながらトラフィッ クを転送します。

– ブロッキング:ポートは現在ブロックされており、トラフィックを転送できません。

- リスニング:ポートはトラフィックを転送できず、MACアドレスを学習できません。

– 学習:この状態のポートは新しいMACアドレスを学習できますが、データフレームを 送信できません。

- フォワーディング:この状態のポートでは、データフレームの送受信とBPDUの送受信 が可能になります。

・代表ブリッジID:代表ブリッジのブリッジプライオリティとMACアドレス。

・指定ポートID:選択したポートのプライオリティとインターフェイス。

・ Designated Cost:STPトポロジの一部であるポートのコスト。STPがループを検出する と、コストの低いポートがブロックされる可能性が低くなります。

・ Forward Transitions : ポートがブロッキングステートからフォワーディングステートに 変更された回数。

・速度:ポートの速度。

・ LAG:ポートが属するLAG。LAG設定はポート設定を上書きします。

ステップ13:[Apply]をクリ**ックします**。